



株式会社南出キカイ

水や油、空気や蒸気を制御する機器、熱の供給や熱交換の機器。こうした機器は、ほとんどの産業に必要不可欠だ。これら機器の販売に加えて、メンテナンスも担っている専門商社が南出キカイである。2015年に年商100億円を突破し、24年には184億円を超えている。



代表取締役社長
松谷圭馬氏

「水・風・熱」の機器で産業を支える専門商社

（株）南出キカイは1939年（昭和14）、南出喜太郎氏が大阪市内で機械工具商として創業。ポンプや送風機、それらを駆動するモーター、関連パーツなど、各種の工場設備機器の専門商社となった。

「戦争で事業が中断しましたが、戦後に再出発。多くの皆さまに支えられ、おかげさまで2024年（令和6）に創業85周年を迎えました」（松谷圭馬社長）

商品の全容を表す3文字を、社内のコンセンサスとして 企業理念に掲げる

戦前に続き戦後も、ビジネスの大きな柱となったのはポンプだった。ポンプは大別すると陸上用と水中用があり、そこからさらに油用・ケミカル用など、用途によって分かれる。つまりポンプ

が移送する中身は、水を始め、燃料・各種薬品・食品（飲料）など多種多様で、その用途は実に幅広い。

同社はポンプの種類とメーカーに精通し、顧客のニーズにフィットワーク良く応えようと共に、ポンプとつながりのある分野へ取扱商品を広げた。ボイラーやヒーターなどの加熱装置、冷却装置や冷凍装置、温かい物体から冷たい物体へ効率的に熱を移動させる熱交換器といったように。

かくして同社が扱う商品は大きく広がったのだが、周囲からの声に戸惑うことがあったという。

「関西で長年実績を積むうち、『南出キカイさんはポンプ屋さんですよね』といわれるようになったのです。ポンプ以外にもさまざまな機器を扱ってお客さまのご要望に添えているのに、それらの商品がポン



現場におけるポンプおよび周辺機器の点検

プの影に隠れてしまっている。課題を感じました」

同社は営業所の全国展開を進めたが、顧客開拓の過程で、あの課題が頭をよぎった。「ポンプ専門の商社」と思われてはならない。商品の全容を訴求するための、端的なキヤッチフレーズが必要だ。改めて

全取扱商品を確認。その結果、三つの分野になった。

第1に水処理機器。陸上や水中の小型ポンプから、化成品や食品製造プラント等で使う大型ポンプまでそろえ、洗浄用など特殊用途の機器もある。

第2に空気を移送する機器。各種送排風機・エアポンプ・真空装置から空調設備までそろっている。

第3に温度調節の機器。ボイラー・ヒーター・冷却器・熱交換器などの機器から、ビル全体の温度を管理する空調設備もある。

これらすべてを端的に表現するとしたら……。「水」「風」「熱」の3文字が適切だ。これを全社的なコンセンサスにしよう——企業理念「水・風・熱を通して、広く社会に貢献します」を掲げた。

工場設備機器の保守に包括的なソリューションを提供する。商品調達への通訳。

1991年(平成3)、バブル経済が崩壊した。産業界では工場の設備投資が抑制され、南出キカイも苦闘の時期が

続いた。活路が見えなかつた。不況の経費削減が工場設備の保守部門に及び、メンテナンスの外部委託が増えたことだった。

保守作業は工場の地元の業者に委託されるようになった。だが工場では多様なメーカーの機器が連動して機能しており、長年使用されている機器ほど調整や修理に配慮すべき要素が増える。また、個々のメーカーのサポート範囲を超えた問題も起きる。生産ラインが止まらないよう、必要な整備用品・補修用品・交換部品を的確かつ手早く調達するのは容易ではない。

「そこに南出キカイの出番を見つめました。私どもには長年蓄積した工場設備機器の知識と経験があり、最新の情報も持っている。各地の修理業者さんや工事業者さんとの太いパイプもあります。メーカーさんやディーラーさんと、メンテナンス業者さんの間に立ち、商品調達への通訳」として迅速な課題解決のご提案ができます」

同社はメーカーのサービス代行も含め、全国で

工場設備機器のメンテナンスに包括的なソリューションを提供するようになった。商品販売に加え専門的で高付加価値なサービスを提供することで、業績回復に成功したのである。

人材教育に力を入れ、グループ企業を増やし、日本のモノづくりを支える

同社はコロナ禍の危機も乗り切った。訪問営業を自粛することになったが、メルマガジンでの情報発信や、末端の顧客にPRするためのチラシ制作を工夫することで、取引先からの評価を高めることに成功したのだ。

また、人材教育として営業マンを互いにテレワークの形で結び、「お客さま役」と「営業マン役」で全

社的なロールプレイングを実施。ベテランが若手を鍛えて、営業スキルが大きく向上したという。

同社は組織的な成長も続けている。産業用ポンプ等のメンテナンス専門会社(株)メンテJAPANを設立。また、ポンプの販売からメンテナンスまで手がける(株)四柳と資本業務提携。さらに(株)ジャポンをM&Aでグループに加えた。

「ジャポンはケミカルポンプの優れたメーカーなのですが、後継者難で廃業すると聞き、私どもが事業継続する旨を申し出ました。微力ですが、日本のモノづくりを支えるのが当社の役目ですから」

「水・風・熱を通して社会貢献」は、着実に広がっている。



大阪市にある本社ビル

社長 松谷圭馬氏
創業 1939年(昭和14)8月
設立 1951年(昭和26)6月
資本金 330百万円
従業員数 188名
事業内容 水処理機器・空調機器・熱関連機器を中心とした産業機械卸売商社
所在地 〒550-0013
大阪市西区新町3-7-7
TEL 06-6535-5795
FAX 06-6535-5642
URL <http://www.minamide.co.jp>
取引店 りそな銀行大阪西区支店

会社概要